

二次分析研究会2014 参加者公募型研究 成果報告会

子どもの生活 保護者の教育意識

2015年2月23日（月） 10:40～18:15 東京大学赤門総合研究棟5階センター会議室

開会の辞（10:40～10:55） 木村治生（ベネッセ教育総合研究所／東京大学社会科学研究所）

第一部会（10:55～12:30） 司会：石田賢示 コメントーター：仁平典宏

- 小・中・高生の時間使用に対する時間感覚とその影響要因—時間使用に対する家族の助言行動の効果に注目して—
報告者：李秀眞（弘前大学）
- 仕事と家族に関する小学生の将来目標
報告者：大高瑞郁（山梨学院大学）
- 中高生の生活態度や意欲と親との関わりの関係について
報告者：三沢徳枝（大阪府立大学）
- 子どもの生活態度に親の働きかけが与える影響
報告者：松田典子（文京大学）
- 体験活動の教育的効果—第2回子ども生活実態基本調査の二次分析—
報告者：佐藤智子（東京大学）

第二部会（13:30～15:05） 司会：香川めい コメントーター：藤原翔

- 保護者の大学進学期待の研究—その規定因と子どもの学業達成に与える影響—
報告者：武井恵亮（東京大学）
- Social Predictors of Study Hours: Gender and Parents' Educational Attainment.
A case study of Japan (elementary through high school) in 2008
報告者：Rieko Arashi
- 親のアプローチと子どもの学習習慣の関連—潜在クラスモデルを用いた計量分析—
報告者：安藤努（東北大学）
- 高校生の将来ビジョンは学習時間の長さを左右するか
報告者：下瀬川陽（東北大学）
- 放課後の生活時間調査から見る高校生のキャリア意識の規定要因
—異質な他者が存在する場と生活や勉強への態度に焦点を当てて—
報告者：齊藤有吾（京都大学）

第三部会（15:20～16:40） 司会：堤孝晃 コメントーター：有田伸

- 子どもの学校外教育活動における母親の影響
報告者：谷口沙恵（東京大学）
- 2000年代以降の母親の教育意識とその時代的变化
報告者：齊藤知洋（東北大学）
- 学校外教育費という「選択」を左右する要因
報告者：河野志穂（早稲田大学）
- なぜ「所得差による教育の不平等」を容認するのか—学校外教育への投資行動が保護者の意識に与える影響の分析から—
報告者：前田麦穂（東京大学）

第四部会（16:55～18:15） 司会：木村治生 コメントーター：須藤康介

- 公立小学校の保護者の不満解消戦略の規定要因—「退出」と「告発」を分けるものは何か—
報告者：岡本実希（東京大学）
- 母親の学校参加意思の規定要因の分析—保護者の行動と認知に着目して—
報告者：荻野亮吾（東京大学）
- 中学受験の規定要因—「学校外教育活動に関する調査（2009年,2013年）を用いた分析—
報告者：田中規子（お茶の水女子大学）
- 中学校選択の不平等—国私立中学校進学に関する階層差と地域差に着目して—
報告者：濱本真一（東北大学）